

予定心臓外科術後に集中治療室入院経験のある患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター集中治療科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

予定開心術の高齢患者における術前フレイルと術前予後予測スコアの相互関連が術後人工呼吸期間及び ICU 滞在期間と術後合併症に与える影響について

【研究の背景と目的】

高齢患者のフレイル(加齢に伴い心身の予備能力が低下した状態)は生命予後を左右する因子であり、術後 ICU ではフレイルにより死亡リスクの増加や移動能力・自宅退院率の低下が報告されています。心臓外科においてもフレイルは予後に影響すると言われてはいますが、従来の予後予測スコアでフレイルを考慮したものはまだありません。今回の研究では、予定開心術後に ICU へ入室されたの患者さんの診療記録を使用して、CFS（Clinical Frailty Scale）というスコアで評価した術前フレイルと従来の予後予測スコアである JapanSCORE2 の相互作用が術後合併症に与える影響を検討します。この研究により、フレイルを含めたより包括的なリスク評価が可能となり、適切な治療方法を選択できるようになる可能性があります。

【対象となる方】

2018 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に予定開心術（冠動脈バイパス術、弁置換・形成術、大血管手術）を受けた後に ICU へ入室した 60 歳以上の方

【使用する診療情報】

生年月、年齢、性別、BMI、入室時重症度、介護保険利用状況、認知機能、既往歴、基礎疾患、術前 ADL 情報、術後経過情報

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2025 年 10 月 7 日）から 2027 年 3 月 31 日まで実施され 590 名の患者さんが対象となります。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号で匿名化されたのち解析を行います。また、データは集中治療科のスタンドアローンのパソコン内にパスワードで保護し、この研究以外の目的で使用することはありません。使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は集中治療医学会学術集会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 集中治療科 長谷川隆一（学内教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 集中治療科 担当者：高井千尋（学内助教）
埼玉県越谷市南越谷 2－1－50 電話番号：048-940-2704(集中治療科医局) 平日 9 時～17 時

以上